



株式会社マネジメントセンター
〒310-0844 茨城県水戸市住吉町 97-2
MSKビル 2F
TEL029-246-4671 FAX029-246-4672
URL : <http://www.isommc.com/>



編集責任者
松本幸雄

今年も残りわずかとなりました。寒さも厳しい季節となりましたが、皆様はいかがお過ごしですか。来年も健康で楽しく仕事をしていきたいですね。



超高齢社会の医療・介護市場

今年の敬老の日に発表された、日本の高齢者（65歳以上）の比率は、ついに25%を超えて4人に1人が高齢者となる「超高齢社会」になっています。このような人口構成が更に進展して、医療・介護業界がどのようなようになるかと考えてみたいと思います。

（1）介護費は、9兆円から21兆円へ

2000年に介護保険が導入されて、13年が経過しました。その変化は、当初250万人であった介護認定者が、現在550万人と倍増しました。更に、介護費も3.6兆円から9兆円と2.5倍に増加しました。しかも、今後も増大基調が続き、2025年には、21兆円まで上回る見込みとなってきました。

	2011年	2025年
65歳以上人口	2976万人	3657万人
65歳～74歳	1504万人	1479万人
75歳以上	1471万人	2179万人

以上の表より、これから14年の間に、65歳以上の人口は、700万人程度増加し、しかもそれが75歳以上の後期高齢者であることが特徴となります。そのために、後期高齢者は、持病や健康不安の悩みを抱えるケースが多く、介護のニーズが発生しやすくなります。それ以外にも生活支援のニーズもどんどんと高まり、宅配弁当などのサービスも増加傾向です。

（2）医療と介護

このように超高齢社会の到来に対して、厚生労働省では、社会保障制度の持続可能性を高めるために、医療と介護の機能分化と連携を進める「2025年モデル」を発表しました。以下がその内容です。

	2011年	2025年
病院の病床	166万床	159万床
外来・在宅医療	794万人	809万人
介護施設	92万人	131万人
居住系施設	31万人	61万人
在宅介護	304万人	449万人

左記の表からわかりますように、増大する医療ニーズに対しては、在宅中心の介護サービスで対応していくとの方針になります。

具体的な取組は、医療としては急性期への医療資源を集中投入し、それ以外については在宅介護を充実することで、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていける仕組み作りをする方向となります。従って、今後は、在宅医療・訪問看護の増大や居宅系の介護サービスが増えていく傾向となります。

シルバー市場の今後

1. 75歳以上の後期高齢者が急激に増加
2. 介護費が21兆円に大幅に増える
3. 医療は、在宅医療が増加する
4. 介護も在宅介護が増大していく

（3）保険外市場

介護保険外のサービスも増加していきます。予想される分野としては、①「健康管理・増進」の健康食品やフィットネスクラブが増えることが期待されます。また、②「生活支援」については、家事代行サービスや補助用具（歩行・排泄等）の要望が増えると思われます。更に③「介護の担い手負担軽減」としては、介護ロボットや事務管理作業の情報化が増えていき、④「生きがい創出」の分野としては、レジャーや教育・趣味及び就労などが必要となることが予想されます。

以上より、介護保険外の色々なシルバー市場が増大し、様々な業界からシルバー市場へ参入する大きなチャンスとなっています。（担当 松本）

県内の中小企業に朗報 使える「助成金制度」のご紹介

茨城県では「産業大県づくり」を目指した**助成金交付事業**を、製造業中心に実施しています。中でも「販路拡大」を目指す企業が、国際規格である「ISO」を取得する際に多くの企業が活用しています。

(1)「助成金交付事業」の該当業種

【助成金の対象となる事業者】

日本標準産業分類の大分類E（製造業）に該当する中小企業者及び製造業に密接に関連する中小企業

金属製品製造業・プラスチック製品製造業・ゴム製品製造業・食料品製造業・輸送用機械器具製造業・印刷業・

組込ソフトウェア業者などが含まれます。

申請締切は2014年1月10日（金）まで！

ISOの取得で「助成金100万円」のチャンス！

（担当：渡邊）

(2) 具体的な活用事例

助成金の活用実績としては、ものづくり応援プログラムの中の「**販路開拓支援事業**」があります。

特に中小製造業への効果が有るのは、『**販路拡大の為に国際認証規格（ISO, JISQ等）取得**』に対する助成金です。助成金のポイントは以下の通り。

◆ISOの取得に掛かった費用の2/3以内

◆助成限度額は100万円

中小製造業を中心に、ISO取得の際には『**強い味方**』として、多くの企業が利用されています。

(3) 問合せ先

株式会社マネジメントセンター 担当：渡邊孝行

TEL029-246-4671 FAX029-246-4672

ISO取得で販路拡大

社内教育では、スコトーマに警戒！（後編）



人間の思い込みから心理的盲点が発生し、見たいものしか見えなくなる「**スコトーマ**」。前回は、スコトーマが与える悪影響について新人教育の面から紹介いたしましたが、今回は、別な視点から話を進めてまいります。

何故、日本代表に文句を言うのか？

来年はブラジルでサッカーW杯が開催されます。多くの日本人がTV観戦されると思いますが、その時、状況判断の悪いプレーを見ては「なにやってんだよ！」と言うと思います。これって実は、結構正論が多いのですが、TV観戦している人はスコトーマが外れているから言えるという事情もあるのです。逆にいうと、グラウンドの中にいる選手たちは、ガチガチにスコトーマに縛られすぎて、実際の視野や心の視野が狭まっているのです。

スコトーマを外させる武器は？

これは職場でも同様でしょう。現場で働いていると、日々スコトーマに襲われます。現場の判断だけで仕事をされた場合、暴走に発展する恐れもあります。そのため、上司・管理職の方々は、スコトーマを外して現場を見ようとする姿勢が必要になります。全ての前提や思い込みを捨て、全ての出来事を疑って現場を見ましょう。

これは、特に「仕事してあげる」との意識が強い人や、自己主張の少ない顧客を相手に仕事をしている人に有効になります。彼らの意識の中には、自分たちの仕事は正しいとの思い込みが激しい傾向があります。そういった方々には、**会社の理念を掲げ、何のために仕事をしているのかを繰り返し説いてください**。我々でも理念の大切さについて協力できれば、お手伝いしたいと思います・・・（文責 小山）

◆各種ISOなど、国際規格の取得支援・・・助成金の活用もご支援致します！

ISO9001（品質）、ISO14001（環境）、ISO22000（食品）、ISO27001（情報）

ISO39001（道路交通安全）、AS9100（航空・宇宙）、Pマーク（個人情報保護）



【経営改善、経営アドバイス】

- 経営戦略・事業計画の立案
- 営業計画・売上利益計画
- 介護事業経営支援、アドバイス
- 各業種のマーケティング戦略

【各種社員研修・セミナー】

- 業務改善力、問題解決力向上
- 目標管理・リーダーシップ研修
- 営業力、コミュニケーション
- 年間を通じた介護職員研修
- 各種ISOの内部監査員研修

【介護フランチャイズ事業】

- 異業種からの新規参入支援
- 民家の改装型で初期費用低減
- 10名以下のデイサービス施設
- 半年での黒字転換が可能
- 利益率 平均25～28%（実績）

配布がご不要の方は、失礼いたしました。下記にご一報頂ければ配布の停止をさせていただきます。

TEL：029-246-4671 FAX：029-246-4672 E-mail：info@isommc.com